

支援企業様・支援者様

Hana Sakas



「HANA sakaso プロジェクト with Mother Love」

2012年1～3月 活動報告書

I 活動概要

2012年1月から3月の活動として下記を行いました。

- 1、 成人式を迎えた方へ球根プレゼント
- 2、 菜の花の苗の植付け（常磐線「坂元駅」跡及び周辺）
- 3、 「黄色いハンカチ プロジェクト」のお手伝い
- 4、 1周年追悼式時の活動
 - ① 参列者への紅茶サービス
 - ② 追悼式典への参列

日にち	内容
12月	・各所への支援依頼、調整 ・成人式でのプレゼント用球根を入れる手作り花型パッケージの作成
1月7日	・武内代表 山元町入り
1月8日	・武内代表 山元町成人式に出席
2月	・各所への支援依頼、調整
3月上旬	・各所への支援依頼、調整
3月8日	・武内代表 山元町入り ・菜の花の苗、資材搬入
3月9日	・山下花ボランティアさん、武内代表、プロジェクトメンバー1名で、 坂元駅周辺に菜の花の苗の植込み
3月10日	・(午前) 武内代表、プロジェクトメンバー1名が山下中学校卒業式に出席 ・(午後) 男性メンバー・・・「黄色いハンカチプロジェクト」準備のお手伝い 女性メンバー・・・坂元駅周辺に菜の花の苗の植込み
3月11日	・式典開始前に紅茶サービス ・「東日本大震災山元町追悼式」出席

Ⅱ 成人式を迎えた方へ球根プレゼント

- 2012年1月8日（日）山元町成人式にて、今年成人式を迎えた方にスノードロップの球根をプレゼントしました。
- 武内代表が成人式に出席。式終了後、退場口で、武内代表が手作りの花型パッケージに入れられた球根を、新成人一人一人に手渡しました。
- 花型パッケージ作成作業は、鴻巣オープンガーデンメンバーの皆さんがご協力下さいました。
- 手作り花型パッケージの資材として、100円ショップダイソー様が寄付して下さいました。



花型パッケージの作成の様子
鴻巣オープンガーデンの皆さんの協力で



手作り花型パッケージに入れた球根

スノードロップ
和名: 待雪草
耐寒性、球根植物
鉢植え、花壇



【伝説】

天使がイブを慰める為に雪に息を吹きかけたところ
その雪の落ちた場所からスノードロップの花が咲いた。

球根に添付した説明書き



新成人一人一人に球根を手渡ししました。

皿菜の花の苗の植付け

- 2012年3月8日、菜の花苗 3840pot、球根類（クロッカス・水仙）800pot を搬入しました。積み込み作業・運搬は、タカラ興運 柵さん（4t 車）に支援頂きました。
また、積み下ろし作業は山下中学校の先生方、生徒さん達にご協力頂きました。
- 3月9日、常磐線坂元駅跡周辺に、武内代表他メンバー1名と山下花のボランティアの方々と、菜の花の苗 1200 pot の植込みをしました。
- 昨年11月に菜の花の種まきをした場所ですが、残念ながら寒さでほとんどがダメージを受けてしまいました。そのため、今回再度苗を植えこみました。
苗は鴻巣市の吉田園芸様が、育成の支援（種まきから苗にするまで）をして下さいました。
- 3月10日午後から、プロジェクトメンバーが、残りの苗の植込みを行いました。



山下花のボランティアさん 植込作業の様子



作業の合間の休憩

山下花のボランティアさん達と
手作りちぢみ、しそ巻、らっきょう「美味し〜〜！」



まだまだ寒い東北地方。近くのたんぼには白鳥が飛来していました。



プロジェクトメンバー 雪が降る中での植込作業の様子



作業終了後に今回参加の女性メンバー全員で

IV 「黄色いハンカチ プロジェクト」のお手伝い/他

- 2012年3月10日、「幸せの黄色いハンカチ」プロジェクトのお手伝いをしました。
- このプロジェクトは、“やまもと子どもも大人もみんなで遊び隊”が主催されていて、「山元町民が、これまでの支援に対する感謝のメッセージや将来への言葉を、黄色いハンカチに書き込み町内に掲げよう。」という活動です。
- 当プロジェクトメンバーは、主に山下中学校にてメッセージが書き込まれた黄色いハンカチに紐をつけ、ロープに結び付ける作業を担当しました。
- 同日午前中、山下中学校体育館で行われた卒業式に、武内代表・プロジェクトメンバー俳優 山口良一さんが来賓として出席しました。また、午後には、プロジェクトメンバーが同体育館で翌日行われる追悼式の会場設営のお手伝いをしました。



メッセージが書き込まれた黄色いハンカチ



中学校校舎前にたなびく黄色いハンカチ

V 1周年追悼式時の活動

<出席者への紅茶サービス>

- 山下中学校昇降口スペースで、1周年追悼式典に参列される山元町民や関係者の方々へ、オリジナル紅茶のサービスを行いました。また、昇降口の外（受付前付近）でも淹れたての紅茶のトレーサービスを行いました。
- この紅茶は、名産でもある山元町産のリンゴを使ったアップルティーで、プロジェクトメンバーの紅茶ブレンダー ワイズティーネットワーク株式会社社長 根本さんによるオリジナルブレンド紅茶です。
- 当日は根本さんが紅茶を淹れ、プロジェクトメンバーと共に参列者へのサービスを行いました。また、この日ふるまった紅茶及び器材等は根本さんより支援していただきました。



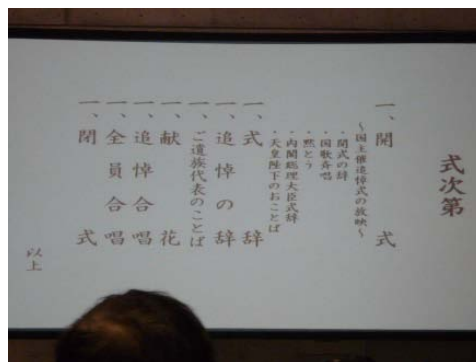
山元町産リンゴを使ったアップルティー



アップルティーをお渡しするプロジェクトメンバー

<1周年追悼式への参列>

- 2012年3月11日14:30より、東日本大震災山元町追悼式が行われました。
- この式典に、武内代表はじめ計14名のメンバーが参列しました。



- 式典終了後、約10か月お世話になった山下中学校 渡辺校長先生、山元町役場の方々とこれまでの活動や関わりをふりかえり、固い握手を交わしました。



山下中学校名物校長 渡邊校長先生と武内代表との握手



プロジェクトメンバー山口良一さんと



式典終了後 プロジェクトメンバーの記念写真



プロジェクトメンバーの声

❖大熊康之

プロジェクトに参加できたことを大変うれしく思っています。

ボランティア活動をした仲間や山元町の方々と巡り合えたことは、私の人生の宝物です。

❖柵鷹平

まず初めに今回のプロジェクトに参加させていただき、皆様と共に活動できた事を感謝しています。実際現地にいた時間は少しではありましたが多くの事を感じ、とても成長できた時間だったと思います。ありがとうございました。

そして現地で元気なあいさつ、笑顔くれた山元中学校の生徒の皆様、先生方、本当にありがとうございました。まだまだ大変なこともあると思いますが頑張ってください。応援しています。

❖黒瀬洋

プロジェクトに参加させていただき、ありがとうございます。

毎日毎日を大事にしなくてはと、あらためて実感しています。

❖小泉安弘

有難うございました。パワーを頂きました。

❖武内敦史

どんなに辛くても、困難な状況でも、花を贈られるとそれだけで笑顔になる。生きる上で最高で一番身近な贅沢品だと思った。

❖田村勇二

山元町のみなさん、たくさん勇気をいただきました。ありがとうございます。

❖根本泰昌

このプロジェクトに、私は「紅茶で HANASAKASO」をテーマに参加いたしました。町民のみなさんへの紅茶教室やティーパーティーを皮切りに、最後は追悼式での、山元町名産のりんごが入った「山元りんご物語」のご提供。一杯の紅茶で、どれくらいの事ができるか・・・心を込めて紅茶をブレンドいたしました。

紅茶も皆さんに喜んでいただき「新たな名物にしたいです！」とたくさんの方から話しかけていただき、じーんときましたことを覚えております。

このプロジェクトで知り合えた皆さんも、私にとっては財産です。ありがとうございました。

プロジェクトメンバーの声

✿松井良友

今回のボランティアを通じて被災者の方々が厳しい生活を強いられている現状を目の当たりにしました。そんな被災者の皆様から「ご苦労様、ありがとう」の言葉。「ありがとう」という言葉がどれほど心をやさしくする言葉であるか今回ほど痛感したことはありません。我々に出来る事、「東日本大震災を風化させないこと」だと思います。

✿向井康治

今回はとても素晴らしい機会を与えていただき、ありがとうございました。

ボランティアは「してあげる」ものではなく、「させていただく」ものだということをしみじみ感じる事が出来ました。

今回の活動は阪神淡路大震災の際、災害復旧活動を途中で断念し秩父に引き揚げざるを得なかったことに対する、16年ぶりのリベンジでもありました。

プロジェクトのメンバー、山元町のみなさんとの素晴らしい出会いもありました。被災地の本当の復興と復幸にはまだまだ時間が必要でしょう。この絆がこれから先もずっと続いていくと信じ、またお目にかかりましょう。ありがとうございました。

✿山口良一

思いがけず参列した山下中学校の卒業式。泣きました。翌日の追悼式、ご遺族の言葉に泣きました。山元町は僕の中で特別な町になりました。これからも訪れて皆さんの笑顔に会いたいと思います。

✿横沢

お花を手渡したとき、仮設住宅の方々が笑顔だったのが、うれしかった。それが何よりも参加した甲斐がありました。

✿吉木隆司

山元町の方々のたくさんの笑顔。それが前を向いて歩いて行ける一番の理由だと感じた。それを皆で共有する為にプロジェクトに参加していた様な気がします。

「生きる（活きる）」とは何かをプロジェクトで学ばせて頂きました。

プロジェクトメンバーの声

❖井上洋子

慰霊式で被災前の美しい風景と人々の弾ける笑顔が映し出され、何もかもが流された荒涼としたあの場所に多くの幸福な生活があった事に涙が止まりませんでした。

被災地の復興はまだです。これからも非力ながらお手伝い出来る事があれば喜んでやりたいと思います。普段なら知り合える事な決してないメンバーの方達そして山元町の方達、このボランティア活動で得た全てが私の宝です。

❖郭 立宇

<喜> プロジェクトに参加して、被災地の子供達とふれあい、住民たちの笑顔から勇気と感動を頂きました。<怒>あの津波さえ来なければとつい思います。<哀>親族を亡くした方の気持ちを考えると重いです。<楽>メンバーと知り合い一緒にボランティアをして、とても大切な思い出になっています。

❖黒瀬香奈子

1回だけの参加でしたが、見聞きする被災地と、実際に来て、見て、人と触れ合った被災地とではやはり異なることがあり、非常に自分にとって大きな経験となりました。現実には厳しいものの「人間力」という強さを感じました。このような機会をいただき、また出会えた人々に感謝しています。

❖五月女むつみ

東北出身の私は山元町の皆さんの方言を聞きとても近しく感じました。そんな方たちが恐ろしく悔しく大変な思いをされたこと、本当に他人事とは思えませんでした。

そしてそんな皆さんに寄り添う活動を現地に伺い出来たことに心から感謝します。

❖高瀬千賀子

皆さんが不安なく心地よく生活出来るようになる日が、一日も早く来るように願っています。

❖田村重子

山元中学校での追悼式典で『なにもない』という子供達による歌が私の心に響いて、切ない涙になりました。「花咲かそプロジェクト」の私達が、坂元駅前跡地に植え付けた菜の花が、黄色一面に咲き、訪れた人を和ませることで役立てたならうれしいです。どうか皆様お元気で。

❖山本若世

被災地に行って逆に元気をもらって帰ってきた気がします。また自分の生活や価値観を大きく見直す機会になりました。ありがとうございました。

山元町立山下中学校前校長 渡邊修次

震災直後には 750 名の住民が学校に避難してきました。避難初期は食料品・毛布などの生活必需品を要し、基本的な生活物資を中心に支援していただき、山下中学校の避難所は避難者だけで役割分担して生活してきました。

落ち着きが見え始めると、余裕が出てきて身体を動かしたいと思うようになり、HANA sakaso プロジェクトに、草花を支援していただきました。園芸作業そのものの楽しみ、身体の機能回復、精神的安らぎ、満足感など植物の不思議な力を感じた一面でした。

四季折々の植物で、様々な作業を通じて、避難者の協働・協力も生まれました。

HANA sakaso プロジェクトの企画のたまものです。感謝に堪えません。

山元町坂元支所 岩佐孝子

3.11 の慰霊祭には寒い中お出でいただき本当にありがとうございました。

寒い中での花植え作業、そして丹精込めて創り上げていただいた紅茶は慰霊祭に参加して人々にほっとした心をお届けすることができました。 本当に心から感謝申し上げます。

今後ともよろしく！！

武内代表から

あっという間の 9 か月間でした。HANA sakaso プロジェクトの活動を応援して下さった方々に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

これからもどんな時も「心に花を咲かそ」を胸に刻み、少しでも多くの人々の幸せにお役に立てる様頑張ります。

※紙面の関係上、メッセージ文章の加除をさせて頂いておりますので、ご了承ください。

VII 支援者一覧

(敬称略 順不同)

◆支援頂いた方々

- ・ワイズティーネットワーク株式会社
- ・フリーアナウンサー 須磨佳津江
- ・田村建設株式会社
- ・有限会社HANAMICHI
- ・スペイン市場
- ・ダンデライオン
- ・アロマ&エステ 若世
- ・欄商事
- ・有限会社ビッグアート
- ・(有) キャセイトレーディング
- ・株式会社 草土出版
- ・(株) 大総産業 (100円ショップ)
- ・生活骨とう 時空
- ・サロン ティアラ
- ・ブリックプロダクツ東京株式会社
- ・鴻巣市花組合
- ・鴻巣花き株式会社
- ・株式会社埼玉園芸市場
- ・工藤建設株式会社
- ・花の大和
- ・かねか加藤製陶所
- ・エムズファクトリー
- ・三重県青少年先導指導会
- ・小林花卉
- ・庭貴
- ・エスケー化研株式会社
- ・悠々ホーム株式会社

◆応援メッセージを頂いた方々

- ・タレント・俳優 山口良一
- ・ワイズティーネットワーク株式会社 代表取締役社長 根本泰昌
- ・タウン誌編集者 ひらひでこ
- ・有限会社キャセイトレーディング 代表取締役 鈴木潔
- ・ガーデン工房 結 -YUI- 向井康治
- ・株式会社埼玉園芸市場 代表取締役社長 大野秀雄
- ・田村建設株式会社 代表取締役 田村勇二
- ・鴻巣市鴻巣花組合 組合長 金井章浩
- ・株式会社草土出版 白澤照司
- ・スペイン大使館
- ・深谷市役所 企画財政部次長 吉田次郎
- ・HANAMICHI 代表取締役 小泉安弘
- ・新宿区議会議員 根本二郎
- ・鴻巣花き株式会社 代表取締役 竹内行雄
- ・元NHKキャスター 現フリーアナウンサー 須磨佳津江
- ・北鴻巣クリニック 院長 井上修士
- ・アヌ ワレマディーナ マスジット
イマーム Hafiz Faizullah
- ・埼玉県花と緑の振興センター 副所長：落合
- ・B's Garden 山下

※今回の山元町 HANA sakaso プロジェクト活動終了後の寄付金残金につきましては、HANA sakaso プロジェクト基金と致します事をご了承ください。

HANA sakaso プロジェクト
代表 武内比登美